

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月 27日

【評価実施概要】

事業所番号	0170400097		
法人名	社会福祉法人 宏友会		
事業所名	グループホーム風車の家		
所在地	札幌市西区宮の沢490番地87 (電話) 011-666-8514		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年8月24日	評価確定日	平成19年9月27日

【情報提供票より】(19年6月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)11年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15	常勤 15人, 非常勤 0人, 常勤換算	15人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	19,000~22,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	260 円	おやつ 40 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月24日現在)

利用者人数	17名	男性 5名	女性 12名
要介護1	3	要介護2	6
要介護3	5	要介護4	3
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 84.6歳	最低 71歳	最高 92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	博友会病院・北都歯科・後藤田医院・いとう歯科・宮の沢総合クリニック
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は自然豊かな場所に位置し、近隣には同法人の特別養護老人ホームがあり、ケアサービスの連携が取りやすい恵まれた環境に立地している。利用者に対する職員の対応は常に穏やかであり、利用者は和やかな雰囲気の中で暮らしている。職員は評価を活かし、更なるケアサービスの質の向上を目指して日々取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価における課題であった「地域とのつながりを深める」ということに関して、改善に向けて取り組んでおり成果が出てきている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員一人ひとりが自己評価表を提出し、全職員で話し合いながら取り組んでいる。また、職員は自己評価を日々のケアを振り返る機会としており向上に向けて努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	地域住民も運営推進会議に参加しており、事業所への理解を深めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議において利用者・家族から意見や要望を受けた際には、職員間で話し合い対応している。また、職員は来訪時に家族が気軽に意見・要望等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	当事業所は町内会に加入しており地域の行事に参加し、近隣住民との交流を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域とのつながりを謳った事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関と事業所内の見やすい箇所に理念を掲示している。また、会議において確認し、理念の共有と実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し地域の行事に参加しており、地域住民との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価にて課題となっていた地域との関わり方については、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には地域住民も参加しており、事業所への理解を深めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市や区のグループホーム管理者連絡会議に積極的に参加しており、共にケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度利用者の暮らしぶりを記録した手紙を写真と併せて家族に送付している。また、年に4回季刊誌も発行し送付している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に事業所内外の相談窓口が明記されており、玄関にも掲示されている。運営推進会議において利用者・家族から意見や要望が出た場合は速やかに対応し、運営に反映させている。また、来訪時に家族が気軽に意見・要望を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しい職員が入った時は利用者との関わり方に配慮し、徐々に馴染みの関係を築けるよう取り組んでいる。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部・外部研修に参加する機会を多く設けており、職員は積極的に受講している。研修後は会議にて報告し、閲覧できるよう資料を綴っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の見学会やグループホーム連絡会議への参加を通じてケアのあり方を見直し、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人や家族に見学に来てもらったり、入居後しばらくは家族にも宿泊してもらうなど徐々に事業所に馴染めるような配慮がなされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>料理や縫い物など職員が利用者から教えてもらうことも多く、共に支え合う関係が築かれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は会話からも利用者の思い・意向を汲み取るよう努め、職員間での情報交換を行い共有化を図っている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	会議にて全職員で話し合い、家族の意見・要望を反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画は6ヶ月に1度見直しを行っているが、利用者の状態変化に応じて随時見直しを行っている。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人・家族の希望に応じて散歩や買い物への付き添いなど、柔軟に対応可能な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関やかかりつけ医での受診支援を行っている。受診は家族の付き添いが原則ではあるが、状況に応じて職員が付き添っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者の身体状況に変化が生じた場合は、そのつど家族と話し合い方針を共有しているが、終末期のあり方については話し合うまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、早い段階から本人・家族と終末期に向けての対応について話し合い、方針を共有することが期待される。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者の誇りを損ねることのないような対応を心掛けている。また、記録物の名前は全てイニシャルで記載したり、書類は全て事務室に保管するなど、個人情報に関する取り扱いにも配慮がなされている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>散歩や買い物への外出など、一人ひとりの希望に合わせた支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力量に応じて調理・配膳・後片付け等を職員と一緒にしており、和やかな雰囲気の中で食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴することが可能であり、一人ひとりの希望に応じた入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理・後片付け・ゴミ出しなど、利用者一人ひとりの生活歴や力を活かした役割を持てるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物だけではなく、さくらんぼ狩りや工場見学など遠方への外出支援も行っており、利用者が日常的に戸外に出掛けられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯の理由から夜間は施錠しているが、日中は鍵をかけておらず自由な暮らしを支援している。また、玄関に鈴が付けられており、職員が利用者の出入りを把握できるような工夫がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力の下、避難訓練が行われている。しかし、職員のみでの参加であり利用者が参加するまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、利用者も参加しての避難訓練を定期的に実施することが期待される。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量を記録しており、職員は把握している。また、栄養バランスの取れた献立となるよう配慮がなされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>事業所内には利用者の作品や行事の写真が飾られており、家庭的な雰囲気有している。また、廊下には椅子が設置されており、利用者が一人でも過ごせるような場所が確保されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や装飾品が持ち込まれており、居心地良く過ごせるような空間となっている。</p>		

 は、重点項目。